

考 動 力 引 き 出 す 秘 訣 こ こ に あ り

 タ イ ト ル に 惹 き つ け ら れ 、 私 は こ の 本 を 手
に 取 っ た 。

 『 な ぜ 日 本 の 大 学 生 は 世 界 で 一 番 勉 強 し な
い の か ? 』

 こ の タ イ ト ル が 目 に 入 っ た 瞬 間 、 一 番 に 疑
問 に 思 っ た こ と は 、 本 当 に 日 本 の 大 学 生 は 海
外 の 学 生 と 比 べ て 勉 強 し な い の か と い う こ と
だ っ た 。 そ こ か ら 、 ま る で 、 空 に 舞 う 華 吹 雪
の よ う に 、 数 多 く の 疑 問 が 頭 の 中 を 駆 け 巡 っ
た 。 し か し 、 こ の 本 を 読 み 終 え 、 す べ て の 疑
問 が 解 消 し た 。 な ぜ な ら 、 考 え る 力 を 育 む 授
業 を 学 生 に 提 供 す る こ と が 大 切 で あ る と 理 解
で き た か ら で あ る 。

 本 書 の 初 読 時 、 自 然 と 大 き く う な ず き 、 素
早 く ペ ー ジ を め く る 自 分 が い る こ と に 気 が つ
い た 。 本 書 を 読 み 終 え て か ら 、 な ぜ こ こ ま で
共 感 し た の か と ふ と 疑 問 に 思 っ た が 、 答 え は

単純だった。現在、私は考える力を引き出す
授業よりも著者が述べる講義形式の授業を数
多く受講しており、またそれらの授業に退屈
していたからである。また、私は現在、ラー
ニングアシスタントというグループワークの
ファシリテーター活動をしていて、受講生の
やる気を引き出すにはどうすればいいのかと
常に考えていた。それゆえ、本書の内容に共
感したのである。

本書では、日本の大学生の現状と将来の問
題点を例に考える力の必要性和その能力を育
むための授業の例が、数多く取り上げられて
いる。そのため、考える力を引き出す授業を
学生に提供したいと考えている大学教授や自
分の中に潜む、まだ見ぬ自分と出会いたい大
学生に是非読んでほしい一冊である。そして、

この本を読み終えたあなたは、自分の中に眠
る「考動力」の原石の存在に気づき、今すぐ
にでも原石を磨くための冒険に踏み出したく

なっているはずだ。私は、この本を読んです

ぐに、原石を磨くための冒険に出発した。

自分の原石を一生ものの宝物とするその日

まで、この本を手にとったあなたと、数々の

冒険を潜り抜けてきた辻氏と、長旅を恐れる

ことなく、旅を続けていきたい。